

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。
 昨年はコロナ禍明けで、約1年間カゼが流行しました。
 さて、今年はどうなるでしょうか？
 生活習慣を整え、冷えないようにして、
 免疫を上げて元気に参りましょう。



麻疹（はしか）と風疹（ふうしん）について

麻疹（ましん・はしか）は麻疹ウイルスによる感染症です。

麻疹ウイルスは空気感染（感染者からウイルスが咳などで飛び出し、
 1m以上離れた人にも感染させる）で起こる病気です。
 約1週間の潜伏期間があります。

【図1】のように最初は咳、鼻水などのカゼのような症状が出ます。

一時的に発熱がおさまりかけた後に高熱と発疹が出ます。

発疹は淡紅色で色素沈着を起こします。

「咳は必発」です。咳のない麻疹はありません。

必ず咳が出て、小児だと軽い気管支炎を起こすことは普通にありました。

主な合併症は気管支炎以外に、肺炎、中耳炎、脳炎です。

脳炎は1/1,000人が発症します。

脳炎の予後は不良で、意識が戻らない状態も起こります。

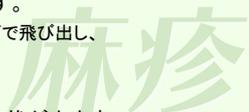
予防はMRワクチンがあります。

1歳と就学前に接種する事が勧められています。

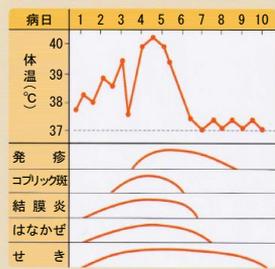
世界的に見てもワクチン接種率の高い国では、麻疹の流行が見られません。

わが国でも、近年大規模な流行はなくなり、散発例のみとなっています。

50歳以上になると免疫が低下してくるため、MRワクチンの接種を希望される方もあります（補助金が出ます）。



【図1】麻疹の臨床像



風疹（ふうしん）は、風疹ウイルスの飛沫感染によって起こる病気です。

潜伏期間は2-3週間です。

初期に首の後ろのリンパ節が腫れて痛みます。

その後、発熱と発疹（淡紅色の細かい発疹）が出ます【図2】。

発疹は色素沈着しません。

麻疹に比べると予後良好です。

合併症は、血小板減少性紫斑症

1/3,000人、脳炎1/600人です。

妊娠20週頃までに風疹にかかると、

胎児に感染して先天性風疹症候群

（難聴、先天性心疾患、白内障および

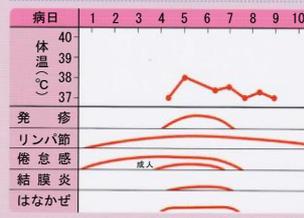
網膜症）が高確率で発症します。

予防はMRワクチンがあります。

1歳と就学前の2回接種します。



【図2】風疹の臨床像



(Krugman's Infectious Diseases of Children, 11th ed, Mosby, St Louis, 2004)

Comment

MRワクチン（以前は麻疹ワクチン、風疹ワクチンを別々に接種していた）の

普及で、麻疹・風疹の発症を見なくなりました。

そのため若い小児科の先生に麻疹、風疹の患者さんを診たことがない場合もあります。

実践向けの小児科の教科書には麻疹、風疹が載っていませんでした。

私の大学病院勤務の頃は、麻疹を発症した患者さんが入院してきました。

たいていが発熱、咳嗽がひどく、気管支炎～肺炎を発症していました。

まれに脳炎の患者さんもあり、意識障害、けいれんが改善せず、難渋したこともあります。

小児における発熱性発疹疾患の鑑別として、

麻疹、風疹は必ずリストアップされます。

その他には、突発性発疹症、手足口病、伝染性紅斑（りんご病）などがあります（これはすべてウイルスが原因）。

細菌では溶連菌感染症があります。

これは小児科医なら『見ただけで分かる』というスキルが大切です。



お知らせ

岐阜市の
漢方外来

1月13日(土)
27日(土)

時間：14:00-17:30
 場所：小島小児科（岐阜市健屋東町2-1）
 ※すべて「院外処方」です。

休診のお知らせ

1月17日(水)、27日(土)、31日(水)

よろしくお祈りします。

小児夜間急病
センター当番日

1月12日(金)

時間：19:30-22:30(受付)
 場所：岐阜市民病院